

# トヨタ前で怒りの声

11月19日（木）トヨタ東京本社前で、久方ぶりの集会が行われました。支援（労働組合等）のみなさんから激励を受けると同時に、トヨタ等自動車メーカーに対するメッセージを書いたプラカードや横断幕を掲げて抗議行動をしました。

## 公害調停の欠席を続ける



[https://youtu.be/Oy-3\\_GdUsQM](https://youtu.be/Oy-3_GdUsQM)



スマホのカメラで映すとニュースが観られます。

**強制的な公害調停の手続きに納得がいかない被害者だ。劣悪な態度に怒りが湧きあがります。当面談話に同意しないという本社でのやり取り等が、ユーチューブのニュースで報じられています。上部の写真左にあるQRコードをスモホのカメラで映すとニュースが観られます。**

# 環境保健部交渉に参加

12月7日環境省で行われた保健部交渉での和田栄子さんの訴え（一部抜粋）です。

私は北海道釧路の出身です。縁あって上京、東京は江戸川でした。上京して直ぐに仕事に就きました。6ヶ月位たった頃から、職場へ向かう小岩駅までの15分位の歩きが、どうにも息が切れてやっとな着くような状態でした。風邪でもないのに咳や痰が出て、呼吸の苦しさではじめて病院に行きました。「ぜん息ですよ」と言われ、自分の耳を疑



和田栄子さん

いました。その後仕事もできなくなり職を失いました。上京して10年が経過し、大田区へ移りました。通院のため産業道路を渡るのに呼吸困難で立つていられずに四つん這いで渡りました。通りかかった知人が病院へ運んでくれました。頭から滝のよう汗に濡れる汗、背中も汗で濡れ失禁もしていました。みじめな有様でした。現在は国の認定「公害健康被害補償法」を受け薬も変わり、呼吸も楽で助かっています。しかし何らの救済も受けられずにいる方もいらっしゃいます。どうか救済にご尽力をお願いいたします。

## 保健部交渉とは・・・？

毎年年末に実施。「公害健康被害補償法」公健法の認定を受けている患者は医療費無料・生活補

償費が支給されます。この生活補償費は労働者の平均賃金から割り出されますが、病状の等級や男女・年齢により違いがあり、毎年支給額の変化があるため、全国の代表が参加して補償金額について交渉が行われます。

## 残念ながら新規認定は終了

手厚い制度でぜん息等の患者ならみな受けたところですが、1988年に「公害は終わった」として国は新規の認定を打ち切りました。一時は10万人にも達した公健法の認定患者ですが、現在は全国で3万人ほどになり、当患者会でも会員の四分の一程に止まります。また、1960～80年代に発病した重症患者も多く、当時の医療水準で働けなくなり補償費が年金代りの方も多くいます。

# 清水鳩子さんありがとうございました

## 私達は「鳩子さんの熱い思いを胸に刻み」頑張ります

あおぞら事務局長

大島 文雄

とても残念です。

鳩子さんは、傍らの受話器をとると「官邸の代

表電話」のダイヤルをまわしました。事務方からは「後ほど連絡」します

ので、暫くお待ちくださいとの事。

2時間、4時間、6時間、私たちは返事が来るのを固唾を飲んで待ちました。

鳩子さんは平然としております。待つこと8時間

「官邸から、総理が面談する」との連絡が入り、2007年4月、ついに原告と安倍首相の面談が実現しました。

これで「原告と被告・国、自動車メーカー」の和解の枠組みが出来上がったのです。



鳩子さん

「官邸窓口」を開く

○歴史にイフ（もしも）はありませんが、鳩子さんの経歴・人格・識見によってこの最終盤の難関を突破できたと思うのは、私一人ではないでしょう。鳩子さん 本当ありがとうございます。ありがとうございました。安らかに眠りください。そして本当の青空から私達を見守り、激励してください。

## 鳩子さんありがとうございました

患者会幹事会・あおぞら連絡会のみなさんが寄せ書きをして、鳩子さんにお送りしました。鳩子さんがお返事をくださいました。ご逝去されるほんの少し前のことです。

## 鳩子さんから

ありがとうございます。みなさんのおかげで、いろいろなことが成果を収められました。これからもよろしくね。

主婦連の元会長で「東京あおぞら連絡会」の理事長を務められました「清水鳩子」さんが11月14日ご逝去されました。享年96歳。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。鳩子さんは東京の公害裁判勝利和解の実現に、なくてはならない方でした。勝利和解後の「東京あおぞら連絡会」結成から理事長として、いつも優しいお顔で、原告・患者を見守り、会議でも若い皆さんの活動のアドバイザーに徹しておりました。高齢でもあり、今年の総会で代表委員も退任されましたが、お別れがかなわなかったことが